

歴史書

9

2007

No. 173



通信

「壬申の乱に向かって」／倉本 一宏

歴史書新刊ニュース〈7・8月〉

歴史書以外の人文社会図書新刊案内〈7・8月〉

歴懇リバイバル2007フェア書目一覧

歴史書懇話会

「壬申の乱に向かって」

くらもと かずひろ
倉本 一宏

(駒沢女子大学人文学部教授)

吉川弘文館の「戦争の日本史」シリーズの一冊として、『壬申の乱』の執筆を依頼されたとき、私は本気で断わろうと思った。ひとつには、2003年12月に上梓した『一条天皇(人物叢書)』に気力と体力を使い果たしてしまっていたのである。

いまひとつには、^{かめだなかし}亀田隆之氏^{らお}と直木孝次郎氏が、1961年に同じく『壬申の乱』と題された傑作を著わされて以来、約半世紀が経っているのであるが、これだけの時を経て、また同じテーマで本を書く以上は、よほどこの両書を凌駕する新しい視座と、「技術」革新がなければ、わざわざ書く意味はないと考えたのである。

壬申の乱の歴史的な意義は誰もが認めるところであるにもかかわらず、これほどの長い間、専門書が書かれていないというのには、何か理由があるに違いない。そしてその最大のものは、壬申紀という史料の時間軸を打破できないということだったのではあるまいか。

私は、壬申紀をいったん58の場面^{ばん}に分割し、それぞれの場面ごとに時間軸と内容を考え(その際、それぞれの^{ばん}記述^{しりょう}の視点を重視した)、その原史料を推定するという作業を行

なった。そして、壬申紀にはいくつかの原史料群が存在し、それらの一部が分割されてバラバラに配列され、壬申紀を構成していることを想定するにいたったのである。

この難事業が完成すると、何とか壬申の乱の全体像が見えてきた。この本の新視点の第一として、壬申紀の再構築ということを目指したい。日付ごと、地域ごとに分割、再編成した壬申紀という素材ができたのである。ここにきて、ようやく『壬申の乱』を執筆する勇気が生じてきた。2004年9月のことであった。

ここまでくれば、後は一気呵成^{いつきかせい}に考察に入れる。新視点の第二として、壬申の乱の日付ごと、地域ごとの戦略シミュレーションを行なった。近畿地方の地図と衛星写真を大量にコピーし、それに一日ごとの両軍の配置や進軍路を書き入れていった。紙幅の関係で、これらをすべて『壬申の乱』に生かすことはできなかったが(一部は第103回史学会大会で発表した)、『壬申の乱』の記述の基本は、一日ごとの戦略シミュレーションである。

これを骨格として、前々から考えてきたことが二つ加わった。新視点の第三として、当時の東アジア国際

情勢と壬申の乱の兵力の問題を挙げよう。あれほどの短期間に、双方とも、かなり大量の農民兵を動員しているが、いったいつの間に、それらは徴発されたのであろうか。考えられる可能性としては、当時の各「国」の拠点に、大量の農民兵がすでに集結しており、大海人も大友も、それを自己の陣営に組み入れて戦ったのではないかということである。もちろん、唐の指令を受けた大友が、全国に国宰を派遣して対新羅戦用に徴発した農民兵である。そして、白村江の戦で壊滅的な打撃を受けた西日本に対し、比較的無傷の農民兵を徴発できた東日本を制圧した大海人の優位性を重視したのである。

新視点の第四として、皇位継承と鷗野の存在を考えた。地方豪族から生まれた大友に、この時代に即位の可能性があったとは、とても考えられない。そのことは、天智も大海人も、そして大友自身も認識していたはずで、天智は大海人に本気で大王位を譲ろうとしたに違いない（その次に自分の望む葛野王か大津王か草壁王に継承させるのが、天智の希望だったであろう）。大海人にしても、放っておいても自分に大王位がまわってくると踏んでいたはずであるから、わざわざ乱を起こして朝廷を倒す必要もなかったのである。

そうすると、何としても草壁王に継承させたい鷗野こそが、乱の真の首謀者だったことになる。近江朝廷を倒して葛野王への継承の可能性を摘み取り、同時に自身と草壁王をで



和麓（笹尾山から）

きるだけ安全に乱に参加させ、でき得れば大津宮に残しておいた大津王を危険にさらすことが、鷗野の大王位継承戦略であったと、ごく自然に考えるにいたった。

さてその次に、壬申の乱における戦術の研究を深めたかった。特に中世史の分野で進んでいる武器論と戦闘論の成果を、何とか古代史にまで援用できないものかと、あれこれ考えてみた。短期間に戦われた壬申の乱においては、日常的な戦闘訓練を受けていない農民兵は、ろくな武器（木の棒！）や武具を支給されないまま戦線に投入されたものの、実際にはほとんど戦力にならなかったのではないかというのが、たどり着いた結論である。

また、国家に対する忠誠心も未成立で、戦闘目的もほとんど知らされていないであろう壬申の乱においては、戦争そのものに対するモチベーションも低かったはずである（特に近江朝廷方では）。さらには、たとえ敵方に付いていたとしても、大海人軍は「公 民」である彼らを殺してしまうわけにもいかなかったであろう。

結局、壬申の乱においては、本格

的な戦闘は我々が考えているほど起こってはならず、大量の農民兵の逃亡と、その追撃・編入が、主たる光景ではなかったかと考えられる。戦死者の数も、想像するほど多くはなかったであろう。

そして最後の視点として、25次にもわたる現地踏査を行なった。もともと、私は三重県出身であるので、壬申の乱のルートに沿って生きてきたみたいなのであるが、この本を書くに際し、すべてのルートを新たに訪れ直した。しかも、図版用の写真をすべて自分で撮影するという荒行を課してしまった結果、気に入った写真が撮れるまで、同じ場所に何度も出かけることになった。

そして、約300枚の地形図と2,000枚の写真が私の手許に残り、そのうち50枚の写真が『壬申の乱』に使われることになった。写真のほとんどと地形図のすべて、それに何より現地踏査の体験と知見は、お蔵入りとなってしまいそうなところだったのであるが、吉川弘文館の編集部が、これらを生かした現地体験を主として記述した『壬申の乱を歩く』の執筆を勧めてくれた。これで、壬申の乱の故地をたどり、追体験を行なうという楽しみを、自分以外の方々にも味わってもらえることになったのである。

『壬申の乱を歩く』は、壬申の乱のすべてのルートを地形図上に示し、157枚の写真を載せることができた。すでにほとんどの写真は撮り

終わっていたのだが、また撮り直しに行くことになり、結局、この一年でさらに13回の現地踏査を行なった。

読者の皆さんも、本書を読み、大海人や鶴野とほぼ同じルートをたどることによって、彼らの見た山や川、湖や海、それに感じた風に触れることができるはずである。私も、これほど楽しい仕事は、未だかつて体験したことがなかった。伊吹山から大津宮までを俯瞰できる比叡山の山頂や、飛鳥京をはじめとする大和盆地を眼下に収める畑集落手前の山道にたたずみながら夕暮れを待った経験、また酷暑の日の加太越えや大雪の中の芋峠越えの体験など、思い出だけでも懐かしくよみがえってくる。この『壬申の乱を歩く』が、より多くの方にそのような喜びを体験していただくための先達となることができれば、この上ない幸いである。

古代の人びとと同じ風を見ることが、そして何より、旅に出たいという気持ちをいつまでも持ちつづけることが大切なのである。さあ、皆さんも一緒に「壬申の乱を歩く」旅に出るとしましょう。

『壬申の乱（戦争の日本史 2）』

『歴史の旅 壬申の乱を歩く』

*吉川弘文館／各定価2,625円（税込）

（表紙写真） 飛鳥から吉野に抜ける
竜 在峠越の途中、畑集落の手前
の山道から望んだ飛鳥京の故地。

新刊ニュース

7・8月発行図書 *発売は予定のものもあります

歴史一般

辞典／年表・地図／歴史学・補助学

CD-ROM版くずし字解読用例辞典

山田奨治・柴山守編（原著・児玉幸多編）

29,400円

東京堂出版〔8月刊〕

古文書解読のロングセラー『くずし字解読辞典』と『くずし字用例辞典』の機能を併せもった画期的な電子辞書ソフト。Windows2000、XP、Vista対応。 978-4-490-10719-7

近現代史考究の座標

大日方純夫著

四六判 369頁 3,990円

校倉書房〔8月刊〕

歴史学のあり方を論じ、日本近代史のとらえ方をさまざまな角度から論じ、歴史教育や教科書問題とからめて歴史認識（戦争認識）のあり方を論じた。 978-4-7517-3890-0

考古学

概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

寺野東遺跡一環状盛土をもつ関東の縄文集落

日本の遺跡23

江原 英・初山孝行著

四六判 200頁 1,890円

同成社〔7月刊〕

集落を囲む環状盛土遺構や数多くの木組遺構など縄文文化の痕跡を良好に残す本遺跡を、長年発掘に携わってきた著者が詳細に解説する。 978-4-88621-397-6

都市と都城

市民の考古学2

藤本 強著

四六判 192頁 予価1,890円

同成社〔8月刊〕

それぞれに東アジアと西アジアで成立したとされる「都」と「市」。それらの起源から展開の様相を具体的な都市の例よりわかりやすく解説する。 978-4-88621-405-8

旧石器時代の日本列島と世界

小野 昭著

A5判 240頁 予価5,000円

同成社〔8月刊〕

石器石材の移動運搬、地域差などの諸テーマを中心に、日本列島の旧石器文化を世界との対比の中でとらえ、研究の現状と展望を見据える。 978-4-88621-406-5

ものづくり―道具製作の技術と組織

縄文時代の考古学6

小杉 康・谷口康浩・西田泰民他編

B5判 310頁 6,300円

同成社〔7月刊〕

石器・土器・貝など「もの」に着目。それらの製作・供給・交易システムを、精度の高い方法で解明し、縄文社会全体の中に位置づける。 978-4-88621-399-0

飛鳥藤原京木簡一

飛鳥池・山田寺木簡

奈良文化財研究所編集・発行

B4判 114頁 18,900円

吉川弘文館〔8月刊〕

飛鳥池遺跡を中心に、飛鳥池東方遺跡、山田寺跡から出土した計1464点を取め、高画質の高精細印刷を駆使して全容に迫る正報告書。別冊「解説」付。 978-4-642-01971-2

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

吾妻鏡事典

佐藤和彦・谷口榮編

A 5判 336頁 5,250円 東京堂出版〔8月刊〕

鎌倉時代の重要な史料である「吾妻鏡」を、文献学・考古学・国文学の研究者が多角的に考察し、中世社会の本質を解明しようとした意欲的な1冊。 978-4-490-10723-4

アジア・太平洋戦争

戦争の日本史23

吉田 裕・森 茂樹著

四六判 340頁 2,625円 吉川弘文館〔7月刊〕

なぜアメリカとの無謀な戦争に突入したのか？ 日本の敗因を徹底検証する。戦後60年を経た今、アジア・太平洋戦争を問い直す。 978-4-642-06333-3

五山と中世の社会（改題）

同成社中世史選書3

竹田和夫著

A 5判 280頁 6,300円 同成社〔7月刊〕

室町期の藤涼職による五山統制と五山僧の活動が中世社会の政治・外交・文化諸分野にどのように関与したか、その実態を明らかにする。 978-4-88621-400-3

長者ヶ原遺跡—縄文時代北陸の玉作遺跡

日本の遺跡24

寺崎裕助・木島 勉・山岸洋二著

四六判 192頁 1,890円 同成社〔8月刊〕

早くから玉作遺跡として知られる本遺跡について、戦後直後の調査から最新の発掘データまでを概観しつつ、その特性を浮き彫りにする。 978-4-88621-404-1

永原慶二著作選集 第1巻

日本封建社会論 日本の中世社会

永原慶二著

A 5判 536頁 15,750円 吉川弘文館〔7月刊〕

半封建的諸関係をいかに克服するか。中世前期の荘園制の歴史段階と構造とは。「永原史学」の1950～60年代の発展過程を読み解く。 978-4-642-02680-2

永原慶二著作選集 第2巻

日本封建制成立過程の研究

永原慶二著

A 5判 544頁 15,750円 吉川弘文館〔8月刊〕

農奴制・領主制の形成、およびそれと同時に進行する荘園制の解体過程、中世の内乱と農民闘争の意味などを追究した最初の論文集。 978-4-642-02681-9

近世長崎・対外関係史料

太田勝也編

A 5判 680頁 16,800円 思文閣出版〔8月刊〕

長崎奉行所で書き継がれた文書・記録類のうち、唯一現存する史料「長崎御役所留」をはじめ、「長崎諸事覚書」「長崎記」「長崎日記」の4点を活字化。 978-4-7842-1362-7

日本荘園絵図聚影 釈文編一

古代

東京大学史料編纂所編

A 3変型判 76丁、解説冊子200頁 25,200円 東京大学出版会〔8月刊〕

最新の研究成果を踏まえ日本画家が書き起こしたものであり、絵図の細部に描かれた文字、図像、景観など、よりリアルに荘園を再現した画期的研究。 978-4-13-092827-4

増補 親鸞聖人真蹟集成 全10巻

編集＝赤松俊秀・藤島達朗・宮崎圓通・平松令三

菊判 平均400頁 揃262,500円 法蔵館〔7月刊〕

親鸞思想研究に必備の原典を復刻。内容＝12教行信證 3三帖和讃 4尊号真像銘文 56西方指南抄 7観無量寿経集註 8唯信抄 9見聞集 10補遺篇／唯信抄／唯信抄文意ほか 978-4-8318-4980-9

鶴林寺太子堂とその美

刀田山鶴林寺編

A 5変型判 75頁 1,470円 法蔵館〔7月刊〕

聖徳太子創建と伝える播磨（兵庫県）の名刹・鶴林寺の国宝太子堂（法華堂）の建築・内陣荘厳画・彫刻を豊富なカラー写真図版を使用して解説。赤外写真撮影の荘厳図は初公開。 978-4-8318-2212-3

日本古代国家の形成

小林敏男著

A 5判 308頁 9,975円 吉川弘文館〔7月刊〕

3～5世紀の日本は、ヤマト王権が有力首長を支配する人的結合「国家」だったことを、邪馬台国や稲荷山古墳出土鉄剣銘文などから考える。 978-4-642-02461-7

古代の天文異変と史書

細井浩志著

A 5判 376頁 12,075円 吉川弘文館〔8月刊〕

天文異変の記事や暦学を使って国史の年代を復元し、その信憑性と性格を解明。併せて記録保存の実態を追究し、国史編纂の意義を考察する。 978-4-642-02462-4

京都の歴史を足元からさぐる

洛東の巻

森浩一著

四六判 272頁 2,079円 学生社〔7月刊〕

日本の都として千余年の歴史を誇る古都・京都に秘められた歴史遺産の数々！ 東山一帯に隠された歴史の跡を実地に歩きエピソードを綴る森史学の集大成！ 978-4-311-20309-1

日本中世の権力と地域社会

木村茂光編

A 5判 302頁 13,650円 吉川弘文館〔7月刊〕

気鋭の研究者たちが、権力と地域社会をテーマに集った論考を収録。中世社会の黎明や、民衆と地域社会の諸相に迫る7編を収める。 978-4-642-02866-0

尾羽廃寺跡の研究

大川敬夫著

A 5判 330頁 予価8,000円 同成社〔7月刊〕

静岡県尾羽廃寺跡の発掘調査などから、伽藍規模などを詳細に分析・検証。各地の古代寺院との比較データも豊富に収録した渾身の論考。 978-4-88621-401-0

初期室町幕府訴訟制度の研究

岩元修一著

A 5判 304頁 9,975円 吉川弘文館〔8月刊〕

將軍による訴訟親裁化の動きを解明。訴訟手続きに関する体系的研究を文書の機能論から見直し、制度面から初期室町幕府の変革に迫る。 978-4-642-02868-4

南北朝の動乱

戦争の日本史8

森 茂暁著

四六判 270頁 2,625円 吉川弘文館〔8月刊〕

後醍醐天皇、足利尊氏、新田義貞、楠木正成…。教科書からは伝わらない、日本が経験した未曾有の大転換期と個性豊かな群像たちの姿！ 978-4-642-06318-0

江戸時代の古文書を読む 文化・文政の世

徳川林政史研究所監修

B 5判 156頁 2,415円 東京堂出版〔6月刊〕

江戸時代の古文書を影印で掲げ、解説文と読み下し文をつけた独習書シリーズの第五弾。本書は11代將軍家斉と絢爛豪華な文化・文政の世の実相を解説。 978-4-490-20611-1

改易と御家再興

同成社江戸時代史叢書24

岡崎寛徳著

四六判 224頁 予価2,415円 同成社〔8月刊〕

元禄期に御家騒動から改易された那須与一の同名の子孫が、旗本として再興のかなうまでの波乱に満ちた顛末を史料を駆使して再現する。 978-4-88621-403-4

町屋と町並み

日本史リブレット35

伊藤 毅著

A 5変型判 100頁 840円 山川出版社〔7月刊〕

日本の伝統的な都市建築である町屋の展開を京都・大阪・江戸などの都市史と絡めながら概観し、都市における建築のあるべき姿を探る。 978-4-634-54350-8

江戸城が消えていく

『江戸名所図会』の到達点 歴史文化ライブラリー-239

千葉正樹著

四六判 264頁 1,890円 吉川弘文館〔8月刊〕

江戸のガイドブック『江戸名所図会』などの木版印刷物には、現実にはない虚構の江戸が描かれていた。そこに隠されたメッセージを読み解く。 978-4-642-05639-7

江戸の禁書

歴史文化セレクション

今田洋三著

四六判 224頁 1,785円

吉川弘文館〔8月刊〕

近松門左衛門=心中物禁止、英一蝶=三宅鳥流罪など、市民的な文化活動の盛行と幕府による統制・弾圧の実態を当時の世相を交えて描く。 978-4-642-06338-8

〔画文集〕シベリア抑留1450日

山下静夫著

A 5判 608頁 2,940円

東京堂出版〔7月刊〕

敗戦後捕虜として強制移送された著者が、シベリア収容所での生活と労働の現場を、記録写真のようなペン画と日録的に記した文章で再現した画文集。 978-4-490-20613-5

新安保体制下の日米関係

日本史リブレット67

佐々木隆爾著

A 5変型判 100頁 840円

山川出版社〔7月刊〕

新安保体制を軸に安保闘争、ベトナム戦争、沖縄返還、冷戦の終結、9・11事件など多くの事件を把握しなおし日米関係の変化の様相を描く。 978-4-634-54670-7

戦後日米関係と安全保障

我部政明著

A 5判 352頁 8,400円

吉川弘文館〔8月刊〕

現在行なわれる三度目の米軍再編。米国資料を元に、日米地位協定、「思いやり予算」など、戦後アメリカの対日軍事政策を実証的に解明。 978-4-642-03779-2

団塊世代の同時代史

歴史文化ライブラリー238

天沼 香著

四六判 224頁 1,785円

吉川弘文館〔8月刊〕

すし詰め教室、受験戦争、大学闘争、出世競争…。それでもみんな輝いていた！ 同世代の著者が、団塊世代の時代とこれからを語る。 978-4-642-05638-0

宮城県の歴史散歩

歴史散歩4

宮城県高等学校社会科(地理歴史科・公民科)教育研究会歴史部会編

B 6変型判 328頁 1,260円 山川出版社〔7月刊〕

史跡・文化財をたずね歩く都道府県別のシリーズ。文化財公開施設・散歩便利帳・参考文献・おもな祭りや年表など付録も充実。 978-4-634-24604-1

三重県の歴史散歩

歴史散歩24

三重県高等学校日本史研究会編

B 6変型判 320頁 1,260円 山川出版社〔7月刊〕

史跡・文化財をたずね歩く都道府県別のシリーズ。文化財公開施設・散歩便利帳・参考文献・おもな祭りや年表など付録も充実。 978-4-634-24624-9

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

東アジアの国民国家形成とジェンダー

女性像をめぐる

早川紀代・李ヒョンナン・江上幸子・加藤千香子編

A 5判 390頁 5,250円

青木書店〔7月刊〕

日中韓で同時期に展開された良妻賢母論と女子教育論、また既存の性規範に抗う「新女性」の出現。その意味を問い近代化を捉え直す。 978-4-250-20718-1

中国の外交

異文化理解講座6

川島 真編

四六判 250頁 1,890円

山川出版社〔7月刊〕

多様な周辺地域をもつ「大国」の軍事・経済・文化など、各分野における対外戦略の全体像を探る。 978-4-634-47451-2

フェミニストが語るタイ現代史

一〇・一四事件と私の闘い

藤目ゆき監修 チャイヤロット著 増田真訳

四六判 536頁 6,195円

明石書店〔7月刊〕

70年代タイの民主化闘争に参加した著者の波乱に満ちた半生を中心に女性の社会的状況を描く。当事者にしか知りえない状況が生々しく詳細に語られている。 978-4-7503-2593-4

シルクロードのガラス

MUSAEA JAPONICA 6

財団法人平山郁夫シルクロード美術館編

A 5判 128頁 1,700円 山川出版社〔7月刊〕

数千年の時を重ねた古代ガラスの煌きは人類の叡智と美の追求の結晶。シルクロードを通じてもたらされた古今東西のガラスの逸品を紹介する。 978-4-634-64822-7

南アジア史 2 中世・近世

世界歴史大系

小谷汪之編

A 5判 480頁 予価6,090円 山川出版社〔8月刊〕

「世界歴史大系」第2期（14巻）の第3回配本。本巻は南アジア全巻のうち中世および近世を扱う。 978-4-634-46209-0

針の上で天使は何人踊れるか

幻想と理性の中世・ルネサンス

ダレン・オールドリッジ著 池上俊一監修

A 5判 320頁 3,360円 柏書房〔7月刊〕

魔女裁判、動物裁判など、現代人には「奇妙」とも思える振る舞いを、中世・ルネサンスの人々が行っていたのだろうか。その思考の枠組みを解明。 978-4-7601-3164-8

創られるアメリカ国民と「他者」

「アメリカ化」時代のシティズンシップ

松本悠子著

A 5判 352頁 5,880円 東京大学出版会〔8月刊〕

自由と民主主義の普遍性を掲げる国、アメリカ。ナショナリズムの基盤はいかにして形成されるのか。アメリカの歴史に「私たち」意識の源を探る。 978-4-13-026132-6

文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

江戸時代唐船による日中文化交流

松浦章著

A 5判 472頁 9,450円 思文閣出版〔7月刊〕

江戸時代、「唐船」と呼ばれる帆船の往来が舶来文化の受容を担っていた。こうした「唐船」を通じた日中文化交流の実態を日中双方の視点から論じる。 978-4-7842-1361-0

ジパングと日本

日欧の遭遇

的場節子著

A 5判 252頁 5,775円 吉川弘文館〔7月刊〕

マルコ・ポーロが黄金の島と紹介したジパングは日本ではなかった。スペイン史料と古地図から、西欧人の日本認識と日欧遭遇を解明。 978-4-642-02867-7

『資本論』と産業革命

松石勝彦著

A 5判 340頁 6,300円 青木書店〔8月刊〕

産業革命期の機械の創造にもなって、資本一賃金労働の諸関係はどう変容したのか。マルクスが描いた産業革命像を実証的に検証する。 978-4-250-20714-3

近現代日本経済史要覧

三和良一・原朗編

B 5判 280頁 2,940円 東京大学出版会〔8月刊〕

近現代日本経済史分析に必須の史資料やデータを集めた一冊。小泉政権期まで収録。日本経済の歩みを知ることができる。 978-4-13-042122-5

現代ドイツ経済の歴史

古内博行著

A 5判 272頁 3,990円 東京大学出版会〔8月刊〕

戦後ドイツ経済の全体像を提示する、初学者にも便利な入門テキスト。第二次大戦後から現在までを射程に入れた、戦後ドイツ経済の通史。 978-4-13-042126-3

日本経済史 4 戦時・戦後期

石井寛治・原朗・武田晴人編

A 5判 400頁 5,460円 東京大学出版会〔8月刊〕

未だ十分とはいえない「戦時経済」の議論を改めて緻密に行う。「戦時」の位置づけをより明確にし、日本経済が大きな変貌をとげるプロセスを描く。 978-4-13-044074-5

跋扈する怨霊

崇りと鎮魂の日本史 歴史文化ライブラリー237

山田雄司著

四六判 208頁 1,785円

吉川弘文館〔7月刊〕

長屋王、菅原道真、平将門、崇徳院…。災い
なすものたちの系譜を探り、彼らはなぜ怨霊
となって祟るのかを実際の史料に基づいて辿
る。 978-4-642-05637-3

インドの神々

歴史文化セレクション

斎藤昭俊著

四六判 306頁 2,520円

吉川弘文館〔7月刊〕

ヒンドゥー教、仏教、ジャイナ教、イスラム
教、ゾロアスター教。それら様々な神々を、
わかりやすく紹介した“インド宗教入門書”。
978-4-642-06337-1

近世の遊行聖と木食観正

西海賢二著

A 5判 496頁 18,375円

吉川弘文館〔8月刊〕

近世の遊行聖である木食観正上人をはじめ、
徳本上人など民間宗教者の活動を解明。彼ら
と講集団はどのような関係にあったのかを探
る。 978-4-642-03423-4

戦後教育のなかの〈国民〉

乱反射するナショナリズム

小国喜弘著

四六判 240頁 2,730円

吉川弘文館〔8月刊〕

〈日本人〉は学校で生まれる。旧教育基本法、
国民的歴史学運動などから、戦後教育が人び
とに植えつけたナショナリズムの閉塞性を問
う！ 978-4-642-07979-2

仮名草子集成 第42巻

深沢秋男・伊藤慎吾・入口敦志・花田富二夫編

A 5判 344頁 18,375円

東京堂出版〔7月刊〕

案内記・評判記・教訓物・笑話など、仮名草
子約250編を網羅す。本巻には「四しやうの
うた合」「四十二のみめあらしひ」「水鳥記」
「杉楊枝」を収める。978-4-490-30540-1

読みにくい名前はなぜ増えたか

歴史文化ライブラリー236

佐藤 稔著

四六判 208頁 1,785円

吉川弘文館〔7月刊〕

イメージ先行の「でたらめ名前」は、日本語
に何をもたらすのか。漢字と人名の歴史を探
り、名づけと漢字を文化の問題として考える。
978-4-642-05636-6

季刊東北学 第12号

東北芸術工科大学・東北文化研究センター編

A 5判 200頁 2,000円

柏書房〔8月刊〕

特集は、「獅子舞とシシ踊り」。「獅子舞」と
「シシ踊り」、両者にはどのような関わりがあ
ったのか、なかったのか。それぞれの本質と
実態に迫る論考。 978-4-7601-3188-4

誕生と死の民俗学

板橋春夫著

A 5判 334頁 8,925円

吉川弘文館〔7月刊〕

「生まれ変わり」と「靈魂」で説明されがち
な人生儀礼研究を振り返り、「いのち」に関
する日本人の思考や認識のあり方を解き明か
す。 978-4-642-08191-7

伝記

大正天皇

人物叢書247

古川隆久著

四六判 288頁 2,100円

吉川弘文館〔7月刊〕

生来の虚弱体質を背負いつつ、激動の明治・
昭和の狭間を治めた「守成」の君主。近年公
開の史料も活用し、悲運の生涯に迫る。

978-4-642-05240-5

雑誌

日本歴史 8月号(第711) = 7月刊
 9月号(第712) = 8月刊
 日本歴史学会編集

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料8,300円[送料込]

◆各種割引制度有

二年間前払い16,000円[送料込]

三年間前払い23,500円[送料込]

A 5判 146頁 各780円 吉川弘文館〔7・8月刊〕

学生・院生 一年間5,000円[送料込]

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

(P.12よりつづく)

臨床社会心理学 叢書 実証にもとづく臨床心理学 坂本真士・丹野義彦・安藤清志編

| | | | |
|------------------------------------|------|--------|----|
| | A 5判 | 3,990円 | 7月 |
| 日本経済の構造変化と景気循環 浅子和美・宮川努編 | A 5判 | 5,670円 | 7月 |
| スポーツで地域をつくる 堀繁・木田悟・薄井充裕編 | A 5判 | 2,940円 | 8月 |
| 文字の都市 世界の文学・文化の現在10講 柴田元幸編著 | 四六判 | 2,940円 | 8月 |
| 事故と安全の心理学 リスクとヒューマンエラー 三浦利章・原田悦子編著 | A 5判 | 3,360円 | 8月 |
| 現代日本の死と葬儀 葬祭業の展開と死生観の変容 山田慎也著 | A 5判 | 5,460円 | 8月 |

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴史書以外の――

人文社会図書新刊案内

2007. 7・8

――青木書店――

- 共生社会システム学序説 持続可能な社会へのビジョン 矢口芳生・尾関周二編
 A 5判 3,780円 7月
- コミュニケーションと関係の倫理 (仮題) 種村完司著四六判 予価2,200円 8月

――明石書店――

- 世界を不幸にする原爆カード ヒロシマ・ナカサキが世界を変えた 金子敦郎著
四六判 1,890円 7月
- 大いなるモンゴル 遊牧の民との会話 山元泰生著四六判 1,785円 7月
- まんが「慰安婦」レポート① 私は告発する チョン・ギョンア著 山下英愛訳
 B 5変型判 1,400円 7月
- サウジアラビアを知るための65章 中村覚編著四六判 2,100円 7月
- アース・デモクラシー 生命の多様性に根ざした民主主義 ヴァンダナ・シヴァ著 山本規雄訳
四六判 3,150円 7月

――大月書店――

- アスペルガーの子のためのワークブック 自分とまわりのことがよくわかる本
 エレン・S・ヘラーコリン著 中田洋二郎監修 B 5判 1,680円 7月
- 境界領域への旅 岬から社会学的探求 新原道信著四六判 2,940円 7月
- エンリコ・フェルミ オックスフォード 科学の肖像 オーウエン・ギンガリッチ編集代表
四六判 1,890円 7月
- 知られざる宇宙 海の中のタイムトラベル フランク・シェノツィング著/鹿沼博史訳
四六判 3,990円 8月
- 病気になったら死ねというのか 医療難民の時代 矢吹紀人著 A 5判 1,575円 8月

――思文閣出版――

- 祭りのしつらい 町家とまち並み 岩間香・西岡陽子共編 B 5判 2,310円 8月
- 伝統工芸再考 京のうちそと 過去発掘・現状分析・将来展望 稲賀繁美編 A 5判 13,650円 8月
- バーナード・リーチ再考 スタジオ・ポタリーと陶芸の現代 エドモンド・ドゥ・ヴァール著
 A 5判 5,040円 8月

――東京大学出版会――

- 地方分権改革 行政学叢書5 西尾勝著四六判 2,730円 7月
- ゲーデルと20世紀の論理学4 集合論とプラトニズム 田中一之編 A 5判 3,990円 7月
- 実践 法律相談 面接技法のエッセンス 菅原郁夫・下山晴彦編 A 5判 2,730円 7月
 (P11へつづく)

歴懇リバイバル2007

秋の共同復刊企画

- * 名著・貴重書・基本図書を復刊！
- * 日本史を中心に考古学、宗教史、世界史、国文学、伝記など幅広いラインナップ！
- * いずれも少部数の復刊です。お早めにご注文下さい！
- * 復刊書目は2007年7月31日現在13社62点。

主催：歴史書懇話会

発売：2007年10月上旬

| | | | |
|---------|--------------|-------|--------------|
| 青木書店 | 03-5997-4051 | 東京堂出版 | 03-3233-3741 |
| 大月書店 | 03-3813-4651 | 刀水書房 | 03-3261-6190 |
| 校倉書房 | 03-3203-4851 | 同成社 | 03-3239-1467 |
| 柏書房 | 03-3947-8251 | 塙書房 | 03-3812-5821 |
| 学生社 | 03-3857-3031 | 法藏館 | 075-343-5656 |
| 思文閣出版 | 075-751-1781 | 吉川弘文館 | 03-3813-9151 |
| 東京大学出版会 | 03-3811-8814 | | |

※著者名につづく（ ）は初版年、出版社名につづく〔 〕は分類を示します。

- | | | |
|---|-------------------|--|
| <p>新装版 昭和天皇の十五年戦争 藤原 彰著 (2003) 四六判 192頁 2,100円</p> | <p>青木書店〔現代史〕</p> | <p>満州事変の勃発から敗戦までの天皇の戦争指導の実際を詳細に追究。中国侵略を容認し対米開戦を容認し決断した昭和天皇像を明快に描く。 978—4—250—20302—2</p> |
| <p>集団就職の時代 加藤和俊著 (1997) 四六判 232頁 2,415円</p> | <p>青木書店〔現代史〕</p> | <p>昭和30年代農村から「都市」へと押し出された大量の青年たち、「就職列車」で上野駅に到着した彼らの働き口の実態と構造を、高度成長への序章を描いた。 978—4—250—97022—1</p> |
| <p>雑 穀 木村茂光編 (2003) A 5判 256頁 2,940円</p> | <p>青木書店〔文化史〕</p> | <p>畑作研究・雑穀研究の進展を受け、考古学・文献史学・歴史地理学・民族学など多角的アプローチで、原始から現代までを概観する。 978—4—250—20316—9</p> |
| <p>近代天皇制の文化史的研究 高木博志著 (1997) A 5判 428頁 10,500円</p> | <p>校倉書房〔近代史〕</p> | <p>近世から近代への天皇制の移行・変容を、つねに政治史との接点において考察した。天皇就任儀礼や宮中年中行事、さらに文化財、日本美術史の成立を追究。 4—7517—2670—6</p> |
| <p>沖縄戦と民衆 林 博史著 (2001) 四六判 420頁 5,880円</p> | <p>大月書店〔現代史〕</p> | <p>膨大な記録・資料の蓄積をふまえ、沖縄戦のなかに生きた民衆像をリアルに、そして全面的にとらえようとする調査研究の集大成。 978—4—272—52067—1</p> |
| <p>従軍慰安婦資料集 吉見義明編集・解説 (1992) 四六判 608頁 6,825円</p> | <p>大月書店〔現代史〕</p> | <p>日本軍の陣中日誌をはじめ、米軍の日本兵捕虜尋問報告・オーストラリア従軍看護婦の証言など貴重な記録を総集。 978—4—272—52025—1</p> |
| <p>中世の裁判を読み解く 網野善彦・笠松宏至著 (2000) A 5判 232頁 2,520円</p> | <p>学生社〔中世史〕</p> | <p>中世裁判の古文書を一条一条、謎を解きながら荘園における地頭と百姓の実際の姿、宿の傀儡と遊女の生活を読み解く。網野史学の展開が実例で理解できる。 4—311—30039—5</p> |
| <p>三内丸山遺跡の復元 大林組プロジェクトチーム編 (1998) 四六判 238頁 1,995円</p> | <p>学生社〔考古学〕</p> | <p>巨大な6本のクリの木の柱痕に建っていた巨大な掘立柱はどんな姿だったか。竪穴式住居やロングハウス等の建築物から4500年前の「縄文都市」を復元する。 4—311—20215—6</p> |
| <p>日本古代都城の研究 山中 章著 (1997) A 5判 396頁 5,775円</p> | <p>柏書房〔考古学〕</p> | <p>考古学の手法を駆使して日本古代都城の実像を解き明かす。都城の規模と構造、都市機能の分析、居住階層の構成など、詳細に論究した画期的労作。 4—7601—1455—6</p> |
| <p>東アジアの本草と博物学の世界(全2冊) 山田慶兒編 (1995) A 5判 平均370頁 各7,875円 思文閣出版〔近世史〕</p> | <p>思文閣出版〔近世史〕</p> | <p>日本で遭遇した東の本草学と西の博物学。それらにおける知的冒険の展開を、学問・産業・芸術のような分野への影響をも含めて、多角的に考察した21篇。 上4—7842—0883—6 下4—7842—0885—2</p> |

古代和歌の発生

古橋信孝著 (1988)

A 5判 320頁 5,040円 東京大学出版会〔国文学〕

文学の発生を共同体の根底から洗いだす意欲的な試み。未明の彼方へと謡いだされた神謡、この装いの中から和歌の共同性が確保されてゆく様を明らかにする。

978-4-13-080055-6

近代市民社会の成立

成瀬 治著 (1984)

四六判 270頁 3,360円 東京大学出版会〔思想史〕

アリストテレスの市民社会概念から、ホッブズ、カント、ヘーゲルらの営みを追究する。近代と市民社会を原理的に考察し、今日を問う直す視点の確立を試みる。

978-4-13-025008-5

近代化と伝統的民衆世界

鶴巻孝雄著 (1992)

A 5判 376頁 6,510円 東京大学出版会〔近代史〕

日本近代化の衝撃波が社会の深部に及んだ時、底辺民衆はどのような特異な反応を示し、そしてどのような運動スタイルと民衆的課題を、新たに獲得したか。

978-4-13-026051-0

江戸名所図会を読む

川田 霽著 (1990)

A 5判 304頁 3,045円 東京堂出版〔近世史〕

江戸を知る上で貴重な資料「江戸名所図会」より当時の社会生活をうかがえる 124図を取り上げ、人物や世態・風俗など、江戸市民の生活模様を解説する。

978-4-490-20167-3

くずし字解読辞典 (机上版)

児玉幸多編 (1993)

A 5判 400頁 3,675円 東京堂出版〔古文書〕

くずした字の形からもとの漢字がわかる。日本史・国文学・書道を学ぶ人にとって、古文書解読に必携のロングセラー。収録字数1300字。本書はその机上版。

978-4-490-10332-8

ユダヤを知る事典

滝川義人著 (1994)

四六判 296頁 2,625円 東京堂出版〔世界史〕

ユダヤ民族2000年の流浪と迫害の歴史、ユダヤ教とユダヤ人、現代のイスラエルとユダヤ世界など、中東問題を知るために必要な知識を平易に解説した。978-4-490-10363-2

お江戸の経済事情

小沢詠美子著 (2002)

B 6判 258頁 2,310円 東京堂出版〔近世史〕

米穀流通のしくみ、商品の江戸への入荷量、町入用の動向、職人賃金の実態など、実例をあげながら、江戸の町の台所事情を解説したユニークな社会経済史。

978-4-490-20467-4

日本童謡事典

上 笙一郎編 (2005)

A 5判 478頁 5,040円 東京堂出版〔国文学〕

〈人生の心の故郷〉とも言える唱歌や童謡、わらべ唄の数々と作詞家・作曲家や関連事項を収録し、〈日本の子どももの歌〉を網羅的に解説した本邦初の事典。

978-4-490-10673-2

総力戦と台湾

近藤正己著 (1996)

A 5判 692頁 14,175円 刀水書房〔近代史〕

日本植民地下の同化政策と親日・抗日運動、先住民と中国本土からの移住民、国民党と共産党など、重層する根深い対立を解明。本邦初の実証的台湾史研究。

978-4-88708-192-5

ドイツ三十年戦争

C.V.ウェッジウッド著／瀬原義生訳 (2003)

A 5判 618頁 10,500円 刀水書房〔西洋史〕

17世紀、新旧両教徒の対立から始まったヨーロッパ国際戦争の実態を、当時の政治・社会全体の複雑な流れの中で躍動的に描出した、本邦初の本格的通史。978-4-88708-317-2

ガラスの考古学

谷一 尚著 (1999)

A 5判 210頁 3,885円 同成社〔考古学〕

ガラスの起源から説き起こし、世界に広まっていったガラスを考古学的に追究し、分かり易く分類・解説。更に日本の古墳や正倉院のガラスの由来にも迫る。

978-4-88621-178-1

世界軍事史

小沢郁郎著 (1986)

A 5判 466頁 7,350円

同成社〔世界史〕

先史時代から近代にいたる世界歴史のなかから、軍事史をつうじて戦争の本質を探り、人類の歴史を構築しようとする壮大な試みの書。 978-4-88621-039-5

新羅の神々と古代日本

出羽弘明著 (2004)

四六判 226頁 1,995円

同成社〔古代史〕

今もあまた存在する新羅神社はスサノオノミコトを祀る。新羅は古代朝鮮の三国の一つであり、そこには渡来系の人々の痕跡が…。 978-4-88621-291-7

前方後円墳と社会

都出比呂志著 (2005)

A 5判 800頁 18,900円

塙書房〔考古学〕

古代国家形成における諸段階の定義や、都市と集落に関する考察、前方後円墳の起源や構造の解明を通じて、古代国家の形成過程を明らかにする。 978-4-8273-1197-6

続・古代の技術

小林行雄著 (1964)

B 6判 444頁 4,200円

塙書房〔考古学〕

日本の古代の技術を各分野に分け、その起源・技法発達の過程を、豊富な遺品・文献両面の関係資料を多彩豊富に収録・引用しながら究明する。 978-4-8273-3044-1

能楽論研究<オンデマンド版>

小西甚一著 (1961)

B 6判 324頁 3,570円

塙書房〔文化史〕

中世の能楽論を代表する世阿弥と禅竹の思想を俯瞰し、両者の全ての論の根底に「初心忘るべからず」という一句が流れていることを明らかにする。 978-4-8273-3510-1

律令政治の諸様相<オンデマンド版>

野村忠夫著 (1985)

B 6判 301頁 3,360円

塙書房〔古代史〕

律令国家権力と広汎な班田農民との関係を通して律令政治権力の機構とメカニズムを研究し、八世紀初頭～半ばまでの政治史に新たな一視点を作り上げる。 978-4-8273-3564-4

律令国家と農民<オンデマンド版>

鬼頭清明著 (1979)

B 6判 250頁 2,835円

塙書房〔古代史〕

古代国家による農民支配を「国家的奴隷制」という範疇でとらえるべきことを主張し、それを具体的な実例をあげて解説する。 978-4-8273-3583-5

元禄の社会<オンデマンド版>

脇田 修著 (1980)

B 6判 332頁 3,570円

塙書房〔近世史〕

元禄社会をどのように評価するか、社会経済史的視野から元禄の基本的骨格を明らかにしつつ、社会相の特徴、農村・都市の事情等を具体的に解明。 978-4-8273-3588-0

家の神<オンデマンド版>

近藤喜博著 (1981)

B 6判 283頁 3,150円

塙書房〔民俗学〕

保食神、豊岡姫、稲荷、専女神、シルシの杉、果ては知恩院の甚五郎の忘れ傘まで、家を守ると信仰された神々と民衆との関係を分かりやすく解説。 978-4-8273-3589-7

描かれた日本の中世

下坂 守著 (2003)

A 5判 504頁 10,080円

法蔵館〔中世史〕

日本歴史の解明に補助史料として取り扱われることの多かった絵画・絵図。その歴史史料としての価値を認め、新たな日本中世史像を構築する。 978-4-8318-7478-8

日本史の中の女性と仏教

光華女子大学・光華女子短期大学・真宗文化研究所編(1999)

四六判 232頁 2,730円

法蔵館〔文化史〕

仏教は女性を差別し続けてきたのか。女性の立場から日本仏教の歴史の実像を、古代中世の尼と尼寺、女性の出家と家族関係などの問題に焦点をあて解明。 978-4-8318-7525-9

アマテラスの変貌

佐藤弘夫著 (2000)

四六判 242頁 2,520円

法蔵館〔文化史〕

異国の仏が姿を変え神として日本に現れたのではない！ 童子、男神、女神と変貌するアマテラスを手がかりに従来の神仏習合、本地垂迹などの見方に迫る。

978—4—8318—7129—9

近代日本の日蓮主義運動

大谷栄一著 (2001)

A 5判 448頁 6,825円

法蔵館〔近代史〕

日本近代史の流れを決定づけた「日蓮主義運動」とは何か。政教一致をかかげ、石原莞爾、宮沢賢治が心酔した巨大な運動の全貌を資料を博捜し画期的研究。

978—4—8318—5626—5

現代語訳 南海寄帰内法伝

義浄撰 宮林昭彦・加藤栄司訳 (2004)

A 5判 526頁 9,450円

法蔵館〔東洋史〕

唐代の僧・義浄が著した、留学先インド・ナーランダー寺での衣食住にわたる戒律の実態を伝える第一級史料『南海寄帰内法伝』をはじめ全訳。必読の書。

978—4—83187—353—8

墨書土器の研究

平川 南 (2000)

A 5判 536頁 12,600円

吉川弘文館〔考古学〕

各地から大量に出土する墨書土器。古代の文字の始まりをはじめ、膨大な出土例を通して古代社会の実相を追究し、文字と言葉の関連等に言及。

978—4—642—02354—2

藤氏家伝

鎌足・貞徳・武智麻呂伝注釈と研究

沖森卓也・佐藤 信・矢嶋 泉著 (1999)

A 5判 528頁 13,650円

吉川弘文館〔古代史〕

藤原鎌足の伝記を含む古代史・古代文学の基本文献『家伝』の本格的注釈書。史学・文学・国語学の共同研究の成果。全巻影印付。

978—4—642—02336—8

伝説の将軍 藤原秀郷

野口 実著 (2002)

四六判 200頁 2,415円

吉川弘文館〔古代史〕

「依藤太のむかで退治」で有名な藤原秀郷。将門の乱を中心に秀郷の足跡を辿り、秀郷流藤原氏や武芸故実から、説話の背景を探る。

978—4—642—07779—8

保元の乱・平治の乱

河内祥輔著 (2002)

四六判 236頁 2,625円

吉川弘文館〔中世史〕

世を震撼させた保元・平治の2つの事件には、不可解な疑問が残されている。乱の経過と複雑に絡み合う人間模様を活写し、真相に迫る。

978—4—642—07787—3

中世武家の作法(日本歴史叢書)

二木謙一著 (1999)

四六判 286頁 2,940円

吉川弘文館〔中世史〕

弓馬や軍陣のしきたり、立居振舞い、手紙の書式など室町期の武家の作法を通し、中世武士の姿や日常生活、人生儀礼を生き生きと甦らせる。

978—4—642—06657—0

近世書籍文化論

史料論的アプローチ

藤實久美子著 (2006)

A 5判 346頁 9,975円

吉川弘文館〔文化史〕

17世紀中頃の京都の書肆出雲寺家の活動から、「知」がどのように伝播し、蓄積されていったのかを解明。近世社会における書籍文化の展開を考える。

978—4—642—034409—9

維新政権(日本歴史叢書)

松尾正人著 (1995)

四六判 328頁 3,045円

吉川弘文館〔近代史〕

王政復古のクーデターに象徴される明治維新。明治国家形成の原点となった「維新政権」を、歴史事実をもとに丹念に検討し解明する。

978—4—642—06650—1

近代日本と国語ナショナリズム

長 志珠絵 著 (1998)

A 5判 286頁 6,615円

吉川弘文館〔近代史〕

「国語」とは近代形成期に創られた歴史的構築物である。国語国字論争など政治文化的運動・論争から、「国語」ナショナリズム形成の過程を解明する。

978—4—642—03681—8

帝国の視線

博覧会と異文化表象
松田京子著 (2003)

A 5判 240頁 6,300円

吉川弘文館〔近代史〕

文化と政治が絡み合った国民国家形成期、「異文化」展示が果たした役割とは。帝国意識とナショナル・アイデンティティの問題を考察する話題の書。 978-4-642-03757-0

満洲国

「民族協和」の実像
塚瀬 進著 (1998)

四六判 264頁 2,415円

吉川弘文館〔近代史〕

日本のために存在した満洲国。国家消滅から50年を経て、地域の特徴や統治の実態・矛盾を暴き、新たな問いを投げかける。 978-4-642-07752-1

日本武尊 (人物叢書)

上田正昭著 (1960)

四六判 240頁 1,890円

吉川弘文館〔伝記〕

978-4-642-05024-1

熊襲・蝦夷の征討に西奔東走する悲劇の皇子—武勇と恋愛織りなす古代英雄のロマンを鮮かに解明した名著。

鑑 真 (人物叢書)

安藤更正著 (1967)

四六判 272頁 1,995円

吉川弘文館〔伝記〕

五度の渡海失敗にめげず失明の身で来朝、奈良仏教と日本文化の発展に大きな影響を与えた偉大な唐名僧の伝記。鑑真研究の第一人者による決定版。 978-4-642-05144-6

吉備真備 (人物叢書)

宮田俊彦著 (1961)

四六判 288頁 2,100円

吉川弘文館〔伝記〕

入唐19年、広範な新知識を得て帰朝、儒学・天文・兵学などの学芸に通じ、一度は失脚するも累進して右大臣に昇る。異数な生涯を時代とともに描く。 978-4-642-05129-3

坂上田村麻呂 (人物叢書)

高橋 崇著 (1959)

四六判 256頁 1,995円

吉川弘文館〔伝記〕

渡来系氏族の子孫ながら、征夷大將軍・大納言まで異例の昇進をとげた、征夷の英雄。伝説につつまれた、その生涯を坂上氏の歴史とあわせ克明に描く。 978-4-642-05045-6

千葉常胤 (人物叢書)

福田豊彦著 (1973)

四六判 272頁 1,995円

吉川弘文館〔伝記〕

関東の名族、東国御家人の筆頭—千葉常胤の活動を通して、豪族としての成長・発展と頼朝政権との結びつきを追究し、鎌倉幕府の基盤を解明する。 978-4-642-05063-0

慈 円 (人物叢書)

多賀宗集著 (1959)

四六判 256頁 1,995円

吉川弘文館〔伝記〕

平氏から源氏、北条氏へとめまぐるしい転変を続ける平安～鎌倉初頭の動乱期に、四たび天台座主となり仏教界、思想界に君臨し、優れた和歌と史論を残した大思想家の伝。 978-4-642-05153-8

明 恵 (人物叢書)

田中久夫著 (1961)

四六判 288頁 2,100円

吉川弘文館〔伝記〕

梅尾高山寺の開山。戒律を重んじ行法に励み徳望一世に開ゆ。鎌倉初頭華嚴名僧の高潔な生涯をし、正確な史実に基づきまとめた力作。 978-4-642-05126-2

叡尊・忍性 (人物叢書)

和島芳男著 (1959)

四六判 240頁 1,890円

吉川弘文館〔伝記〕

西大寺の叡尊、極楽寺の忍性。鎌倉旧仏教に属する宗教家としての二高僧の活躍と、かれらをめぐる民衆の切実な求道生活を、鮮かに再現する。 978-4-642-05106-4

菊池氏三代 (人物叢書)

杉本尚雄著 (1966)

四六判 336頁 2,205円

吉川弘文館〔伝記〕

肥後の名族菊池氏—その同族結合と南北朝期の活動を、武時・武重・武光の三代を中心に新しい角度から精彩に描く。 978-4-642-05112-5

伊達政宗 (人物叢書)

小林清治著 (1959)

四六判 256頁 1,995円

吉川弘文館〔伝記〕

秀吉・家康の政権下、独眼よく奥羽を制覇、仙台に居城を建設し屈指の大藩の基礎を築く。使臣のローマ派遣等多彩な生涯を描く。

978-4-642-05013-5

石田梅岩 (人物叢書)

柴田 実著 (1962)

四六判 176頁 1,575円

吉川弘文館〔伝記〕

町人の哲学として生まれた“心学”。その開祖石田梅岩の生涯と根本思想について、最も信憑性の高い史料を駆使しながら、平易・簡潔に述べた詳伝。 978-4-642-05136-1

上杉鷹山 (人物叢書)

横山昭男著 (1968)

四六判 368頁 2,310円

吉川弘文館〔伝記〕

財政改革・産業開発・節約奨励・文教刷新等、藩政改革にすぐれた業績あげた米沢藩主上杉鷹山。この典型的な名君の人と生涯に新たな照明をあてた斬新な伝記。

978-4-642-05098-2

島津斉彬 (人物叢書)

芳 即正著 (1993)

四六判 272頁 1,975円

吉川弘文館〔伝記〕

洋学知識と外国情報により開明的な施政を行った幕末の薩摩藩主島津斉彬。国政では一橋派を支持し幕政改革を企図、藩政では殖産興業・富国強兵の道を進んだ名君の伝。

978-4-642-05197-2

和 宮 (人物叢書)

武部敏夫著 (1965)

四六判 272頁 1,975円

吉川弘文館〔伝記〕

公武合体の犠牲となって家茂に嫁し、幕府滅亡の際苦悶を極む。皇女たるの節義を二つながらに固く守って苦悶懊悩する悲劇の生涯、幕末史彩る数奇な皇女の運命描く。

978-4-642-05071-5

勝 海舟 (人物叢書)

石井 孝著 (1974)

四六判 304頁 2,100円

吉川弘文館〔伝記〕

機略縦横、幕・藩の障壁を撤した改革勢力の全国的連合にその全精力をもやした海舟の生涯と幕末・維新时期における諸々の政治コースのなかで海舟の演じた役割を探る。

978-4-642-05062-3

豊田佐吉 (人物叢書)

楫西光速著 (1962)

四六判 256頁 1,995円

吉川弘文館〔伝記〕

大工の子に生れ織機の改良に専念、世界的鉄製自動織機を完成。日本織物業における豊田織機の果たした役割と豊田コンツェルンの由来も詳述。 978-4-642-05090-6

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴史書懇話会特設店

- | | | |
|-----------|-------|---|
| 旭屋書店 | 札幌店 | 〒060-0005 札幌市中央区北5条西2-5 ステラブレイス5F ☎011-209-5181 |
| ジュンク堂書店 | 仙台店 | 〒980-0021 仙台市青葉区中央4-1-1 ☎022-265-5656 |
| 岩瀬書店 | 富久山店 | 〒963-8051 郡山市富久山町八山田 字大森新田36-1 ☎024-936-2220 |
| 煥乎堂 | 本店 | 〒371-0023 前橋市本町1-2-13 ☎027-235-8111 |
| 須原屋 | 本店 | 〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-3-20 ☎048-822-5321 |
| 岩波ブックセンター | 信山社 | 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3 ☎03-3263-6601 |
| 東京堂書店 | 本店 | 〒101-0051 千代田区神田神保町1-17 ☎03-3291-5181 |
| 芳林堂書店 | 高田馬場店 | 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-26-5 F Iビル ☎03-3208-0241 |
| ジュンク堂書店 | 池袋本店 | 〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-15-5 ☎03-5956-6111 |
| 有隣堂 | 本店 | 〒231-0045 横浜市中区伊勢佐木町1-4-1 ☎045-261-1231 |
| Booksなかだ | 本店 | 〒939-8212 富山市掛尾町180-1 ☎076-492-1192 |
| うつのみや | 柿木島本店 | 〒920-0962 金沢市広坂1-1-30 ☎076-234-8111 |
| 平安堂 | 長野店 | 〒380-0825 長野市末広町1355-5 ☎026-224-4550 |
| 精文館 | 書店 | 〒440-8517 豊橋市広小路1-6 ☎0532-54-2345 |
| ちくさ正文館 | 本店 | 〒464-0075 名古屋市中種区内山3-28-1 ☎052-741-1137 |
| ジュンク堂書店 | 京都店 | 〒600-8005 京都市下京区四条富小路角 ☎075-252-0101 |
| 旭屋書店 | 本店 | 〒530-0057 大阪市北区曾根崎2-12-6 ☎06-6313-1191 |
| ジュンク堂書店 | 大阪本店 | 〒530-0003 大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ1～3F |

| | | |
|---------|---------|--|
| ジュンク堂書店 | 難波店 | ☎06-4799-1090 〒542-0075 大阪市中央区難波千日前12-7 Y. E. S. NAMBAビル |
| ジュンク堂書店 | 三宮店 | ☎06-6635-5330 〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-6-18 |
| フタバ図書 | T E R A | ☎078-392-1001 〒735-8588 広島県安芸郡府中町大須2-1-1 ダイヤモンドシティ・ソレイユ |
| りーぶる | 天神 | ☎082-561-0770 〒810-0001 福岡市中央区天神4-4-11 福岡ショッピングプラザ6F |
| ジュンク堂書店 | 福岡店 | ☎092-713-1001 〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-13 天神MMTビル ☎092-738-3322 |

2007年7月現在

| | |
|---|---|
| 歴史書懇話会ホームページ http://www.hozokan.co.jp/rekikon/ | |
| 歴史書懇話会会員社ホームページ | |
| 青木書店 | http://www.aokishoten.co.jp/ |
| 明石書店 | http://www.akashi.co.jp/ |
| 校倉書房 | http://www.azekurashobo.com/ |
| 大月書店 | http://www.otsukishoten.co.jp/ |
| 学生社 | http://www.gakusei.co.jp/ |
| 柏書房 | http://www.kashiwashobo.co.jp/ |
| 思文閣出版 | http://www.shibunkaku.co.jp/ |
| 東京大学出版会 | http://www.utp.or.jp/ |
| 東京堂出版 | http://www.tokyodoshuppan.com/ |
| 刀水書房 | http://www.tousuishobou.com/ |
| 同成社 | http://homepage3.nifty.com/douseisha/ |
| 鳩書房 | http://www.hanawashobo.co.jp/ |
| 法蔵館 | http://www.hozokan.co.jp/ |
| 山川出版社 | http://www.yamakawa.co.jp/ |
| 吉川弘文館 | http://www.yoshikawa-k.co.jp/ |

歴史ニュース

8月6日(月)午前8時15分、広島に原爆が落とされてから今年で62年になります。被爆者の方々の平均年齢が75歳との事。その「体験」が語り伝えられ「歴史」を紡ぐのです。原爆を知らない後の世代はその「歴史」を読む事で、せめて「追体験」をしたいものです。

今年の夏も歴史は、戦争を歴史として捉えた専門書を数多く揃えて「戦争は他人事ですか？」フェアを展開しています。どうぞ、よろしくお願い致します。

●「戦争は他人事ですか？ ー近現代戦を知る」フェア

- ◇浦和 須原屋本店 8月末まで
- ◇東京 東京大学生協駒場書籍部 8月末まで
- ◇新潟 ジュンク堂書店新潟店 8月末まで
- ◇大阪 旭屋書店本店 8月末まで

●TENDO 八文字屋(天童市)一連続ミニフェア

月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ30冊」のミニフェアを開催中です。

●東北学院大学土樋店一連続ミニフェア

生協さんでも「歴史書懇話会・今月のオススメ30冊」のミニフェアが始まりました。

●紀伊國屋書店新潟店一連続ミニフェア

新潟でも「歴史書懇話会・今月のオススメ30冊」のミニフェアが始まりました。

●煥乎堂本店(前橋市)「歴史書懇話会連続フェア」開催中!

「日本人と戦争」フェア 8月半ば～

●東京堂書店本店「歴史書懇話会・国語国文学出版会 連続各社フェア」

第11回目「おうふう全点フェア」(2階) 7月～8月

第12回目「校倉書房全点フェア」(3階) 8月～9月

歴史書懇話会と国語・国文学出版会の各社順番に毎月1社ずつの連続フェア開催中。

●今井書店グループセンター店・今井書店出雲店

「島根県立古代出雲歴史博物館開館記念 古代出雲フェア」長期開催中(～秋)

[歴史書懇話会協賛フェアのご案内]

- ◇谷島屋呉服町本店「大御所400年祭フェア」4月中旬～(3ヶ月間継続予定)

縄文時代の考古学 全十二巻

小杉康・谷口康浩・西田泰民・水ノ江和同・矢野健一編
第一線の研究者二百人が結集し、縄文研究の新天地を探る。

⑥ものづくり―道具製作の技術と組織 六〇〇円
⑨死と弔い―葬制 五五〇円

〔全十二巻のその他の内容（隔月刊行・順不同）〕

- ①縄文文化の輪郭
- ②歴史のものさし
- ③大地と森の中で
- ④人と動物の関わりあい
- ⑤なりわい
- ⑦土器を読み取る
- ⑧生活空間
- ⑩人と社会
- ⑪心と信仰
- ⑫研究の行方

土器の民族考古学

後藤 明編 B5判・一四六頁・三九〇円

人類の造りだした人工物のなかで最も長期的に使われ続けている土器。民族学と考古学の双方の視点からその意義を探る。

原始・古代日本の祭祀

相山林継・山岸良二編 A5判・四四頁・五五〇円

様々な遺物や遺構の分析を通して、多様な祭祀儀礼を考古学的に考察。縄文から歴史時代に至る新たな時代像を提示する。

同成社中世史選書3

五山と中世の社会

竹田和夫著 A5判・二八〇頁・六〇〇円

室町期の薩涼職による五山統制と五山僧の活動が中世社会の政治・外交・文化にいかに関与したのか。その実態に迫る。

シリーズ日本の遺跡 菊池徹夫・坂井秀弥企画・監修〔四六判〕

全国各地の遺跡を平易に解説する。遺跡の総合ガイドブック。

⑬寺野東遺跡 江原英・初山孝行著 一八〇円

環状盛土をもつ関東の縄文集落



〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8 (価格は税込み)
TEL03-3239-1467 FAX03-3239-1466 振替00140-0-20618
http://homepage3.nifty.com/douseisha E-mail douseisha@nifty.com

同成社

歴史書懇話会 役員幹事再任 のお知らせ

当会は6月8日に
平成18年度総会を
開き、役員幹事を
右記の通り再任い
たしました。

- 代 表 幹 事 (吉川 弘 文 館) 横井真木雄
- 書 記 ・ 幹 事 (大 月 書 店) 大和 定幸
- 会 計 ・ 幹 事 (東 京 堂 出 版) 馬場 辰也
- 特設店・企画委員会幹事 (刀 水 書 房) 中村 文江
- 販 売 委 員 会 幹 事 (学 生 社) 林 義則
- 弘 報 委 員 会 幹 事 (同 成 社) 吉田 幸一

— 会 告 —

平成19年6月8日の歴史書懇話会総会において、京都大学学術出版会の休会が認められました。

— おわび —

本誌171号、172号に掲載しました歴史書ベストフェア参加書店のうち、札幌市弘文堂地下鉄店は弘栄堂地下鉄店の誤りでした。ここにつつしんで訂正いたします。

東アジア考古学辞典

日本考古学協会会長

西谷 正 [編] 好評発売中

最新情報を網羅した初の辞典！



り必要な基礎史料となる項目二三五〇を収録した。挿図は写真・図版合わせて六〇〇余点を収め、第一線の研究者二五〇余名が執筆した。四六倍判 六一〇頁 定価二一〇〇〇円

CD・ROM版
くずし字

解読用例辞典

山田奨治・柴山 守編 (原著児玉幸多編) 本ソフトウェアはロングセラーの「くずし字解読辞典」「くずし字用例辞典」の検索方法を同時に使える画期的なCD・ROM。調べたい文字を入力すれば即座に一覧表示する。定価二九四〇〇円

●詳細内容見本進呈

南北朝遺文

関東編 全六巻

第一巻好評発売中

「九州編」「中国・四国編」に続くシリーズ。関東八カ国に伊豆・駿河・甲斐・信濃・越後・佐渡を加えた十四カ国の地域文書六〇〇〇通を収録。第二巻は平成二〇年三月予定。A5判 第一巻 定価一六八〇〇円

天皇・皇室を知る事典

(近刊)

小田部雄次著 明治天皇から今上天皇までの四代天皇を中心に、天皇家の歴史と皇室諸制度、華族・女官などわかりやすく解説し、特に、日清・日露・太平洋戦争を通して天皇と日本の近現代史の側面をさぐった。四六判 三八二頁 定価二七三〇円

全国年中行事辞典

三隅治雄著 日本の年中行事を理解するために、全国の神社・寺院の伝統的、代表的な祭り、伝統行事、現代の行事、仏事や忌日、市、暦など一五〇〇項目を第一人者が解説した。菊判 五七〇頁 定価七八七五円

中世の内乱と社会

佐藤和彦編 多方面にわたり活動されてきた編者の研究課題であった「内乱と悪党」惣村と一揆「流通と情報」「太平記と史料論」の四テーマを第一線の中世史研究者が献呈した。A5判 六〇〇頁 定価一〇五〇〇円

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町1-17

東京堂出版

TEL 03-3233-3741 (価格は税込)

http://www.tokyodoshuppan.com

刀水書房発行の「歴史としての戦争」

復刻雑誌『兵隊』

南支派遣軍報道部刊
「解題」大濱徹也
[推薦]木村尚三郎・小沢昭一・鶴見俊輔・石田一郎
日中戦争中の広東に兵隊が自由に投書する雑誌「兵隊」があった。初代編集長は野坂浩平。兵隊の日常生活や思いが描かれた不思議な雑誌の復刻見聞。四六倍判・36冊4合本、一九四二頁、投稿三三七四人、¥1万1千500円

「補遺」37・38・39合本 四六倍判 一九四頁 ¥3,350
続く三冊を発見。最終号は昭和十九年五月二〇日発行

PR誌「刀水」No.8 「雑誌『兵隊』を読む」原田勝正
「軍報道部の検閲も行われず、自由な表現空間が形成」。(無料)

陣中日誌

中村常賢著 日中戦線 昭和十三年・十四年 四六上製 一〇〇頁 ¥1,690

庶民のみた日清・日露戦争 帝国への歩み
大濱徹也著(刀水歴史全書64) 四六二六五頁 ¥2,300

日本人と戦争 歴史としての戦争体験
大濱徹也著(刀水歴史全書47) 四六二〇〇頁 ¥2,250

敵国日本 太平洋戦争時アメリカは日本をどう見たか? (刀水歴史全書61)
Hバイアス著/内山秀夫他訳 四六二三五頁 ¥3,000

日本と世界の歴史家一四人の列伝(全五巻ついに完成!)

20世紀の歴史家たち(刀水歴史全書45)
(編集)今谷明・大濱徹也・尾形勇・榊山紘一・木畑洋一
既刊 日本編(上下)世界編(上下) 四六平均三〇〇頁 各¥2,900

第5巻 日本編(続) 昨年末刊行 (巻末に収録歴史家一四人の生年順、五十首順一覽)

昭和帝国の暗殺政治 テロとライオンの時代(刀水歴史全書69)
Hバイアス著/内山秀夫他訳 四六二三四頁 ¥2,250

太平洋戦争にいたる道 あるアメリカ人(刀水歴史全書74)
W.フライシャー著/内山秀夫訳 記者の見た日本 四六二七三頁 ¥2,900

敗北しつつある大日本帝国 敗戦直前の日本(刀水歴史全書77)
英国王立国際問題研究所/坂井達朗訳 四六二五五頁 ¥1,835

沖繩の反戦ばあちゃん 松田カメ(刀水歴史全書51)
平松幸三編 口述生活史 四六一九九頁 ¥2,000

戦争と人間の歴史 人間はなぜ戦争をするのか? (刀水歴史全書54)
J.キーガン著/井上堯裕訳 四六二〇五頁 ¥2,300

ベトナム戦争のアメリカ 刀水歴史全書75
白井洋子著 四六一三六頁 ¥1,650

シビリアン・コントロールとデモクラシー
ダイアモンド・プラットナー編 A5二五八頁 ¥3,350

祖国のために死ぬ自由 敵兵拒否の日系アメリカ人たち
E.L.ミニョーラー著/飯野正子監訳 四六三三四頁 ¥3,350

戦争の世界史 技術と軍隊と社会
W.マクニール著/高橋均訳 A5五五〇頁 ¥1,675

世界史の鏡

21世紀の「世界史百科」を目指す!「内容紹介」
[第一冊の5テーマ]
①地域、グローバルとローカル ②国家、王と民のあいだ
③都市、多面性あふれる都市像 ④情報、コミュニケーションが歴史をどう変える ⑤環境、難問への知的挑戦
榊山紘一編 第1期51冊、10月刊行開始 四六二〇〇頁 一六八〇円定

(価格に税込) 千101-0065 東京都千代田区西神田2-4-1 東方学会本館



Tel.03-3261-6190 Fax.3261-2234 http://www.tousuishobou.com

日本の歴史研究の水準を示す、もっとも信頼できる本格的通史！

世界歴史大系 第2期 刊行開始

第3回配本 **南アジア史** 2 [中世・近世] 小谷汪之 編

北インドを中心に10世紀からムガル帝国崩壊までの激動の時代を、文学や建築についても取り上げながら詳述する専門的概説書。ネパール・ブータンの歴史も収録。536頁 6300円

第1回配本 **南アジア史** 3 [南インド] 辛島昇 編 484頁 6090円

第2回配本 **南アジア史** 1 [先史・古代]
----- 山崎元一／小西正捷 編 468頁 6090円

第4回配本 **南アジア史** 4 [近代・現代]
----- 長崎暢子 編 (07年12月刊行予定)

以降 スペイン史・アイルランド史・タイ史・ポーランド史・イタリア史・
朝鮮史 順次刊行

第1期 既刊＝イギリス史／アメリカ史／ロシア史／
フランス史／ドイツ史／中国史

日本史リブレット 各840円

31 板碑と石塔の祈り 千々和 到 著

中世の日本では、多くの板碑や石塔がつくられた。それらは、なぜ、どのような祈りを込めてつくられたのか。石に刻まれた銘文を読み解き、造形を詳細に調べながら、中世人の祈りの世界を探る。112頁

35 町屋と町並み 伊藤 毅 著

都市の成長とともに発展・洗練されていった町屋の展開を、京都・大坂・江戸の歴史と絡めながら概観し、都市における建築のあるべき姿の一端を探る。116頁

67 新安保体制下の日米関係 佐々木隆爾 著

戦後の日米関係を語る上で不可欠な日米安保条約はどのように運用されてきたのか。新安保体制を軸に、多くの事件を把握し直し、日米関係の変化の様相を描く。116頁

次回刊行(9月末) 15 **地下から出土した文字** 鐘江宏之 著

山川出版社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13 税込
電話 03-3293-8131 <http://www.yamakawa.co.jp/>

戦争の日本史 全23巻 毎月1冊刊行中 / 各1500円

21 アジア・太平洋戦争 吉田 裕著 森 茂樹著 (第11回)

「東亜新秩序」を掲げてアジア諸国に進出した帝國日本。なぜアメリカとの無謀な戦争に突入したのか？日本の敗因を徹底検証。戦後60年を経た今、アジア・太平洋戦争を問う。7月の新刊

22 南北朝の動乱 森 茂樹著 (第12回) 8月の新刊

歴史文化ライブラリー

236 読みにくい名前はずなぜ増えたか 佐藤 裕著 1785円 7月の新刊

読みにくい名前が増えている。イメー先行の「ためめ名前」は、日本語に何をもちたらすのか。

237 跋扈する怨霊 崇りと鎮魂の日本史 山田雄司著 1785円 7月の新刊

長屋王、菅原道真、崇徳院…災いなすのの承継を探る。彼らはずなぜ怨霊となつて祟るのか。

238 団塊世代の同時代史 天沼 香著 1785円 8月の新刊

少し詰め教室、受験戦争、出世競争…団塊世代とは何だったのかその時代とこれからの時代。

239 江戸城が消えていく 江戸各名所図会 千葉正樹著 1890円 8月の新刊

「江戸各名所図会」には、現実にはない虚構の江戸が描かれていた。そこに隠されたメッセージとは。

大正天皇 古川隆久著 虚弱体質を背負いつつ、激動の明治、昭和の展開を活め、立守成の君主。近年公開された史料も活用し、悲運の生涯を生き彫りする本格的伝記。人物叢書27 2100円

戦後の歴史学界をリードし、中世史研究に不滅の業績を残した「永原史学」の全容を集大成！

永原慶二 著作選集 全10巻 刊行開始

日本封建社会論 日本の中世社会 日本封建制成立過程の研究



戦後教育のなかの「国民」 乱射する 小国喜弘著 (日本人は学校で生まれる。戦後教育が人々に植えつけたナショナルリズムの閉塞性を問う。2300円 8月の新刊)

歴史文化ライブラリー

インドの神々 斎藤昭俊著 ヒンドークー教伝教ジャヤナ教、イスラム教：わがやうすい。インド宗教入門書。(解説)橋本泰元 7月の新刊 2520円

江戸の禁書 今田洋幸、近松門左衛門、心物禁止、英一集、三七馬流罪、江戸の言論統制と弾圧の裏面を解く。(解説)藤久美子 1785円 8月の新刊

飛鳥藤原京木簡一 飛鳥池・山田寺木簡 奈良文化財研究所編集、発行 日本古代史研究の画期をなす第一級史料「飛鳥藤原京木簡」の正報告書第一冊(原寸大)で完全復元。別冊解説付。 1890円 8月の新刊

古代の天文異変と史書 細井浩志著 12075円 8月の新刊

初期室町幕府訴訟制度の研究 若元隆一著 9975円 8月の新刊

ジパングと日本 日欧の遭遇 約場龍子著 5775円 7月の新刊

近世の遊行聖と木食観正 西海賢二著 18375円 8月の新刊

誕生と死の民俗学 板橋春夫著 8925円 7月の新刊

戦後日米関係と安全保障 我部政明著 8400円 8月の新刊

- 月刊 続刊
- ① 日本中世社会構造の研究 (解説)池 亨
 - ② 荘園 荘園制と中世村落 (解説)藤澤隆彦
 - ③ 大名領国制 中世後期の社会と経済 (解説)鈴木孝一
 - ④ 戦国期の政治経済構造 戦国大名と都市 (解説)池上忠子
 - ⑤ 日本中世の社会と国家 中世史の争点 (解説)入間田智史
 - ⑥ 日本経済史 宇麻・絹・木綿の社会史 (解説)藤田隆子
 - ⑦ 歴史学総説 20世紀日本の歴史学 (解説)保立晋久
 - ⑧ 歴史教育と歴史観 (解説)青木美智久

創業1857年 150

吉川弘文館

2007年版『出版図書目録』送呈 (表示価格は税込) 〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8 / 電話 03-3813-9151 FAX.03-3812-3544 http://www.yoshikawa-k.co.jp/

- 青木書店 175-0092 板橋区赤塚8-12-12 (板橋営業所) <担当者・古川 清>
TEL. 03-5997-4051 FAX. 03-5967-7691
- 明石書店 101-0021 千代田区外神田6-9-5 <担当者・千葉陽介>
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1180
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田1-1-3 <担当者・石田 亘>
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 大月書店 113-0033 文京区本郷2-11-9 <担当者・大和定幸>
TEL. 03-3813-4651 FAX. 03-3813-4656
- 学生社 123-0864 足立区鹿浜3-27-14 <担当者・林 義則>
TEL. 03-3857-3031 FAX. 03-3857-3037
- 柏書房 113-0021 文京区本駒込1-13-14 <担当者・竹内茂善>
TEL. 03-3947-8251 FAX. 03-3947-8255
- 京都大学学術出版会 606-8305 京都市左京区吉田河原町15-9 京大会館内 <休会中>
TEL. 075-761-6182 FAX. 075-761-6190
- 思文閣出版 606-8203 京都市左京区田中関田町2-7 <担当者・中江俊治>
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 東京大学出版会 113-8654 文京区本郷7-3-1 (東大構内) <担当者・角田光隆>
TEL. 03-3811-8814 FAX. 03-3812-6958
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町1-17 <担当者・馬場辰也>
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田2-4-1 <担当者・中村文江>
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋4-4-8 <担当者・吉田幸一>
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷6-8-16 <担当者・榎 祐典>
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 <担当者・西村明高>
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田1-13-13 <担当者・西田 智>
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷7-2-8 <担当者・横井真木雄>
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2007年8月20日発行・第173号

発行 歴史書懇話会

〒113-0033 文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店